

本社阪神事務所

1 事務所概要

- ▶ 住所 〒661-8567 兵庫県尼崎市浜1丁目1番1号
- ▶ 従業員数 クボタ481名、関連会社523名 計1,004名(2009年7月1日現在)
- ▶ 敷地面積 46,478.9m²
- ▶ 事務所建物



2 事業概要

- ▶ 事業内容 機械事業分野
水・環境システム事業分野
- ▶ 主要製品
農業機械及び関連商品
膜システム・リサイクル・上下水エンジニアリング・ポンプ



3 事務所変遷(沿革)

平成14年(2002年) 本社阪神事務所竣工

4 環境方針

全社環境方針

1. すべての企業活動において環境保全に取り組みます
2. 地域社会との共生を図る環境保全に努めます。
3. 環境保全に計画的に取り組みます。
4. 環境管理を徹底します。
5. 環境コミュニケーションを積極的に推進します。

本社阪神事務所環境方針

1. 省エネルギーを推進し、CO₂排出量の削減、廃棄物の再利用・排出抑制・再資源化に取り組み、ゼロ・エミッションを目指します。
2. 環境関連法規制及び当事務所が同意するその他の要求事項を遵守し、維持します。
3. 地域社会とのコミュニケーションを図り、地域の環境保全に取り組みます。

5 環境保全中期計画 目標及び実績

課題	テーマ	管理指標	基準年度	2008年度		
				目標	成果	自己評価
地球温暖化防止	CO2の削減	CO2排出原単位	2007	1%	0%	×
		CO2排出量	2004	2004年度以下	24.5%	
循環型社会の形成	廃棄物の削減	排出原単位	2007	2%	23.5%	
		排出量	2007	2%	22.8%	
	ゼロ・エミッション	埋立比率	-	0.9%	1.4%	×

自己評価の基準 : 目標超過達成 : 目標達成 × : 目標未達成

環境 TOPICS

「省エネ・環境貢献」を考えた設備を積極的に採用しています。



[太陽光発電システム]

基本仕様

設置容量: 60kW

太陽電池: 薄膜シリコンハイブリッド



[マイクロガスタービンコージェネレーションシステム]

基本仕様

発電能力: 76kW (効率27%)

冷/暖能力: 140kW/107kW

熱出力: 105kW



[厨房排水処理中水設備]

基本仕様

計画汚水量: 30m³/日

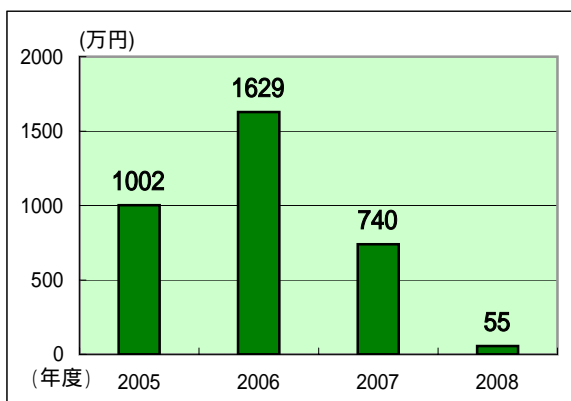
処理方式: 膜分離活性汚泥方式

6 環境会計

環境投資

2008年度:55万円

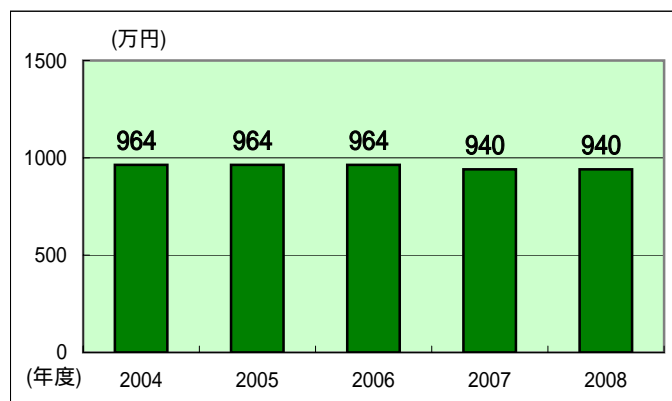
省エネルギー推進策として過剰となっている設備の見直しをした。実験棟用コンプレッサーを37KW仕様から5.5KW仕様に更新した。



環境保全費用

2008年度:940万円

事業所内グリーンメンテナンス等に、年間940万円の費用が発生している。



環境保全効果

2008年度は事業の実験等により、エネルギー使用量が増加したが、廃棄物排出量は低減効果達成して

効果の内容	効果	2007年度	2008年度	効果	対前年度比
事業活動に投入する資源に関する効果	エネルギー使用量(熱換算GJ)	41073	42657	1584	103.9%
	水使用量(万m ³)	2.489	2.6809	0.19	107.7%
事業活動から排出する環境負荷及び廃棄物に関する効果	CO ₂ 排出量(t)	1534	1672	138	109.0%
	SO _x 排出量(t)				
	NO _x 排出量(t)				
	ばいじん排出量(t)				
	PRTR対象物質排出・移動量(t)				
	廃棄物排出量(t)	106.9	82.5	24	77.2%
	廃棄物理立量(t)	0	1.1	1	

経済効果

2008年度:430万円

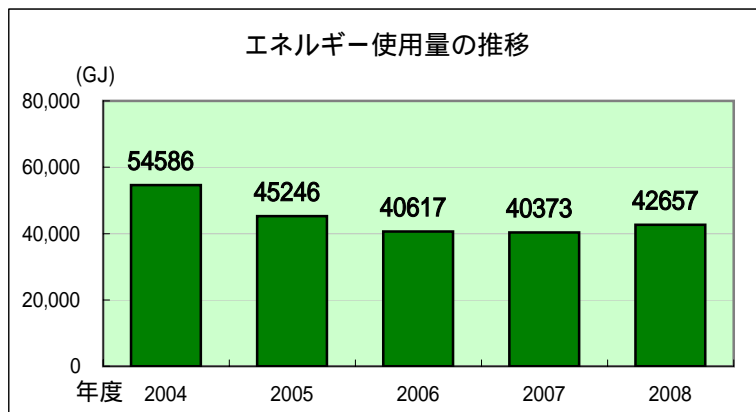
分類	内容	年間効果
省エネルギー対策	水のリサイクル「中水の利用(トイレ洗浄及びグリーン散水用)	230万円
	自動消灯(昼休み時)、個別エアコン自動停止(18時以降)	200万円
合計		430万円

7 環境パフォーマンス

地球温暖化の防止

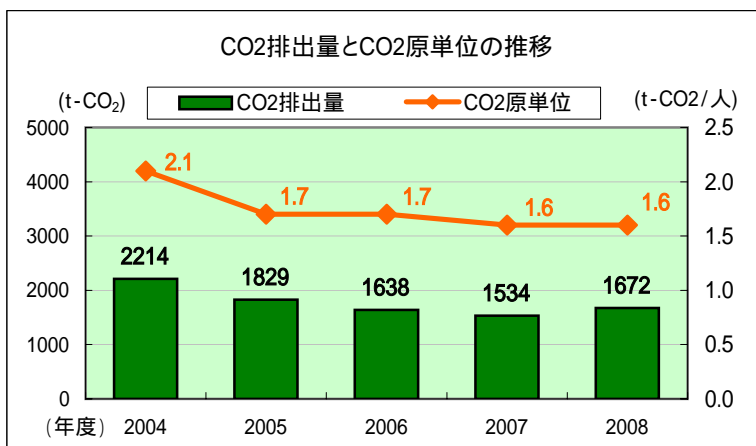
省エネルギー活動

節電・節水に努め、2008年度
 エネルギー使用量は
 2004年度比22%減となっ
 ている。



CO₂排出量の削減

2008年度CO₂排出量は
 2004年度比24%減となっ
 ている。



循環型社会の形成

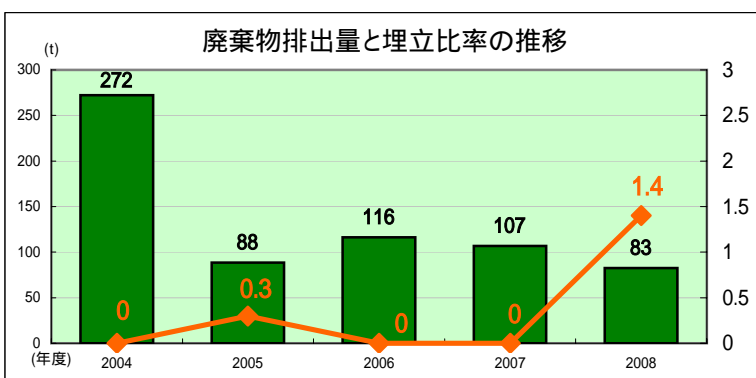
廃棄物排出量の削減

この数年、所内の組織変更
 等により一般廃棄物の増減
 が激しいが、全般的には低
 減傾向にある。

ゼロ・エミッション化

2008年度は特管廃棄物
 (実験試薬等)の中間処理
 後最終埋立量が増え、

ゼロ・エミッション化を達成できなかった。



注: 2004~2006年度 埋立比率(%) = 埋立量 ÷ 廃棄物排出量

2007~2008年度 埋立比率(%) = (直接埋立量 + 中間処理後最終埋立量) ÷ (有価物量 + 廃棄物排出量)

8 環境コミュニケーション

地域の皆様との交流・美化活動

名 称 尼崎市小田地区わがまちクリーン運動

日 付 2008年5月28日

参加人数 67名



名 称 クボタ eプロジェクト活動 (武庫川河川敷)

日 付 2008年8月3日

参加人数 20名

尼崎市第6回まちかどチャームング賞受賞

「まちかどチャームング賞」は、うるおいある美しい街の景観を
“つくり、守り、育てる”尼崎市での取り組みに与えられる賞です。
本社阪神事業所はこの「建造物部門」で表彰されました。



9 サイトデータ

▶ INPUT

項目	単位	使用量	熱量換算GJ	
エネルギー	電気	万kWh	359	35,821
	石炭コークス	t		
	都市ガス	千m ³	156	6,135
	灯油	k		
	軽油	k		
	重油	k		
	LPG	t		
	ガソリン	k	20	700
	合計			42,656

水使用量	万m ³	2.7
------	-----------------	-----

▶ OUTPUT

CO ₂ 排出量	t-CO ₂	1,672
---------------------	-------------------	-------

排水	放流先	項目	単位	末端排水口	
				特定施設なし	測定値
下水道		pH	-		6.8 ~ 7.4
		BOD	mg/		
		COD	mg/		
		SS	mg/		2未満

廃棄物排出量	t	82.5
埋立比率	%	1.4